未来のAI（確かなことと、まだ分からないこと）

AIの将来についての話を、どのように受け取ればよいのだろう

確かなこと

- AIの技術は、今も変わり続けている
- AIを使う場面は、くらしや仕事に広がっている
- AIはまちがえることがある。最後に判断するのは人
- 国や国際的な場で、ルールづくりが進んでいる

議論・研究が続いていること

- 仕事の中身は、どれくらい・どのように変わるか
- 学習に使うデータと、作品をつくった人の権利
- AIが使う電気と、環境への影響
- 安全かどうかを、どう確かめるか

まだ分からないこと

- 人のように、どんな問題でも考えて解くAI（汎用人工知能）はできるか、できるならいつか
- これから、どんな新しい技術が生まれるか
- AIが社会全体を、どう変えていくか

予測をうのみにしない：受け取るときの4つの問い

1. **だれが言っている？**
   立場や、得をするか
   どうかも考える
2. **根拠は何？**
   データ・研究・
   くわしい説明があるか
3. **いつの情報？**
   技術の変化が速い。
   古い情報ではないか
4. **言い切りはない？**
   「必ず」「すぐに」
   などに気をつける

※ 2026年10月時点の整理。何が「確か」で何が「分からない」かも、研究の進み方で変わる。